

## ～目薬の注意事項について～

普段、何気なく使用している目薬ですが、実は注意すべき事項がかなりあります。今回は、目薬を使用されている方に知っておいていただきたい事項を書いてみました。

### 目薬の保管方法について

直射日光を避けて、なるべく涼しくて清潔な場所に保管してください。冷所保存や遮光保存（光を避ける）の指示がある場合はそれに従ってください。

目薬本体に記載されている使用期限は未開封の場合の使用期限です。開封後の使用期限としては、特に記載のない限り、医療用目薬では1ヶ月、市販の目薬では3ヶ月が目安とされています。但し、その期間内であっても目薬の中に浮遊物や濁りが認められたら使用しないよう注意してください。

目薬と形の似ている水虫の薬を点眼してしまったという事例もあります。目薬と形の似ている薬（水虫の薬、湿疹の塗り薬、便秘薬の水薬など）を使用している方は、取り違えないように異なる場所に保管する等十分注意してください。

### 点眼時の注意

目薬は1滴きちんと点眼することができれば充分です。何滴も点眼しないと不安だと言う方も多いですが、どれほど目の大きい人でも2滴点眼すると目薬が溢れてしまいます。

2種類以上の目薬を同時に点眼する時は、5分程度間隔を空けるのが基本です。間隔を空けないと先に点眼した目薬が後に点眼し

た目薬によって流されてしまうので、目薬の効果が十分に発揮されません。

点眼後はできるだけまばたきをせずにまぶたを閉じて、目から溢れた目薬はティッシュなどで拭き取ってください。薬によっては目の周りの皮膚が荒れたり、黒くなってくる場合があります。

目薬の先端がまつげやまぶたなどに触れないようにも注意してください。目やにや雑菌などのため、目薬が汚染されたり混濁することがあります。目薬を上手にさせない場合は、点眼補助具（左図）を使用することも一つの方法です。点眼がなかなか命中しない人や手が震える方のために点眼補助具が市販されています。



### 小さな子供への点眼について

小さな子供の場合、目薬を怖がる場合も多く、目をつぶってしまったり首を振ることがあります。子供への点眼の一般的な方法としては、下図のように点眼する方が床に座って子供をひざの間に上向きに寝かせます。子供の頭を固定して下まぶたを軽く引いて目を開けて点眼してください。

点眼後は子供が手で目をこすらないようにしてください。点眼時に子供が動くと容器の先で目を傷つけることがあるので注意しましょう。

また、子供が泣いている時は、涙で目薬が流されてしまうので点眼は避けてください。

